

第4回審議会における主要な意見・提案等

議題：敦賀市再興プラン（審議会修正原案）

再興戦略	箇所	主要な意見・提案等
北陸新幹線敦賀開業に向けた受けた皿づくり	14	・「新たな生活圏の形成等を見すえた」について、挿入することで、文意が通じなくなっている
	18	・「現状と課題」が不明確、顧客目線が欠落している
	19	・受け皿づくりにおいて観光を推進する上で、広域観光は必須のこととなるため、記述を加えるべき
	19	・「(1) 敦賀のブランドイメージの推進」において、人道の港が核ではなく、中心となるのは氣比神宮であるべきだ
	19	・人道の港と比較して、氣比神宮の方がより敦賀市民の共感を得ることができる
	19	・観光まちづくりにおいては、ストーリーを重視したつながりが重要
	22	・「図表1-2」について、エリアと個別事業計画が混在しており、整理が必要
地域経済の活性化	25	・「現状と課題」において、原子力発電所の長期運転停止を強調しすぎ
	25	・地域経済の活性化策において、(産業団地の企業誘致等) 税収の増加等の具体的な姿が見えない
	26	・「(1) 短期・中期的な視点による地域経済の活性化」において、再興戦略1と重複している

再興戦略	箇所	主要な意見・提案等
地域経済の活性化	26	・「(2) 長期的な視点による地域経済の活性化」において、具体的に長期的な戦略を明示すべき
	27	・原子力発電所によってこれまで敦賀の地域経済の水準は高く、必ずしも当該水準に目標を設定する必要はないのではないか
	28	・域内消費の推進に向け、行政として具体的な施策は存在するのか、検討に終わるのではないかと
人口減少対策の推進	28	・「現況と課題」について、社会減（子育て世代の流出）の理由は原子力発電所の長期運転停止だけでなく、雇用の喪失等が要因との認識からこれを記述すべき
	31	・奨学金返済免除制度の導入を進めるべきではないか ・同レベルの大学を目指すとき、誘因要素となるのではないかと
	31	・奨学金返済免除制度について、奨学金返済で苦勞している現状から、保育士等の専門職に応じた制度は、必要ではないかと
	31	・そもそも敦賀から出て行かせない要素を作り出すことが必要ではないかと
広域的かつ一体的な経済圏・生活圏の構築	34	・「概要版」において、原子力安全対策・防災対策の強化が特に関連の深い基本計画に位置づけられていることから、これに関する記述を加えるべき
	35	・ハーモニアスポリス構想が広域連携の推進を目的とすることから、広域観光等のその他広域連携政策を方針に掲げるべき
	36	・滋賀県側との経済連携の推進は、滋賀県側の企業等の市内への流入を促進させ、市内企業に危機を招くのではないかと